

「基本計画」見直し案(主なご意見と対応一覧)

資料5

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
101050	結婚を望む人を支援するため、出会いの場や交流機会を提供します	①結婚相談所の開設及び運営(月2回) ②登録者へのサポート ③結婚相談所への市民理解・広報 ④イベントの開催	【前期と同じ】	①結婚相談所の開設及び運営(月2回) ②登録者へのサポート ③結婚相談所への市民理解・広報 ④イベントの開催	1. 「結婚相談」について、第2回市民委員会の中で、「600件中8件成就」という数字について、「多い方だ」というお答えだったが、例えば川地屋のようなところでイベントをするようなことも考えてはどうか。もう少しいろいろな事業が出るといいのではないか。	1. 全体計画④の中で、民間事業との連携も踏まえて検討を行っていく。 なお、結婚に関連する事業は、出産につながり人口減少対策につながることもあるが、拡充ではなく、継続として引き続き実施していく	【前期と同じ】	①結婚相談所の開設及び運営(月2回) ②登録者へのサポート ③結婚相談所への市民理解・広報 ④イベントの開催
102010	支援を必要とする子どもの保育と、特別保育(一時・休日・病後児)を充実させます	①特別保育(一時・休日・病後児)の実施 ②支援児保育の充実	【前期と同じ】	①特別保育(一時・休日・病後児)の実施 ②支援児保育の充実 ③潜在保育士の発掘や大学等教育機関への依頼などによる保育士の確保	1. 先生に限らず、保育士さんたちの負荷が増えることになってくると思うが、ICT化で改善しそうか。 2. 「③保育士の確保」について、第7次総合計画前期計画策定の際に女性活躍会議から、「男性保育士を増やして欲しい」を要望していたところだが、計画に入れ込めなかったためもう一度、提案したい。家庭はそれぞれで母子家庭などもある中で、男性性に接する機会を家庭以外で確保できると良いと思う。そういう点で、男性保育士を増やすことができれば良い。 3. 児童館の職員としても男性保育士の必要性を感じている。母性だけではなく、父性は子どもにとって必要。また、男女にかかわらず、育児に積極的な方が地域で活躍していつてもらえるとよい。	1. 今年度中に対応方法について検討を進める 2、3. 男性だけ特別扱いできないため、対応は困難。	【前期と同じ】	①特別保育(一時・休日・病後児)の実施 ②支援児保育の充実 ③潜在保育士の発掘や大学等教育機関への依頼などによる保育士の確保
102070	—	—	小泉保育園、北野保育園を統合して整備を進めます	①小泉保育園と北野保育園の統合、新保育園を整備	—	—	小泉保育園、北野保育園を統合園として整備を進めます	①小泉保育園と北野保育園の統合、新保育園を整備
103010	親育ち4・3・6・3たじみプランに基づき、親子が良好な関係を築く取組を促進します	①親育ち支援委員会・事務局会議の開催 ②親育ちモデル校区事業の推進 ③親育ち広報の実施(Facebook、リーフレット、協賛事業募集ほか) ④親育ち講演会・事業の開催(教員等関係者対象、市民対象) ⑤PTA等との連携(家庭教育学級、家族の約束十二か条の普及推進) ⑥その他親育ち関係組織との連携 ※父親の育児参加促進という観点からも取り組む	【前期と同じ】	①親育ち4・3・6・3事務局会議の開催 ②親育ち広報の実施(Facebook、リーフレット、協賛事業募集ほか) ③親育ち講演会・事業の開催(教員等関係者対象、市民対象) ④PTA等との連携(家庭教育学級、家族の約束十二か条の普及推進) ⑤その他親育ち関係組織との連携 ※父親の育児参加促進という観点からも取り組む	1. 障がい者の方へのバリアフリーは大切なことだと思うが、高齢者に関してはちょっと頑張ればできる、ということもある。ある福祉施設では、バリアフリーではなく、わざと段差をつけたり、手すりをつけないということをしている。その結果、要介護3が2になる、2が1になるなど、実績を残していると聞いた。なんでもお膳立てをして、求めらることをすることが本当に良いことなのか。これは、いじめの件にも繋がるのではないか。もちろん人それぞれだと思うし、それに対して教師や市役所の職員は責任を持っていないと思うので、最終的には親の教育、主体者の教育が大事になってくるのではないか。	1. 全体計画の中で対応	【前期と同じ】	①親育ち4・3・6・3事務局会議の開催 ②親育ち広報の実施(Facebook、リーフレット、協賛事業募集ほか) ③親育ち講演会・事業の開催(教員等関係者対象、市民対象) ④PTA等との連携(家庭教育学級、家族の約束十二か条の普及推進) ⑤その他親育ち関係組織との連携 ※父親の育児参加促進という観点からも取り組む
103020	駅北庁舎次世代育成フロアを拠点に、地域の子育て支援の場と連携し、親育ち・子育ての学び・相談・交流の場を充実させます	①駅北庁舎3階フロアを拠点とした事業の実施 総合的な子育て情報の発信、子育てコーディネーターが子育てに関する情報を一元化して子育て支援事業を調整、保健・福祉・教育部門の連携調整会議の開催と合同事業の実施 ②地域子育て支援拠点事業の実施 各地域子育て支援センター事業の実施、ひろば事業の実施 ③幼稚園・保育園での事業実施 マイ保育園・マイ幼稚園事業情報発信 ④児童館・児童センター事業の実施 子育て相談、子ども自身による企画事業の実施	【前期と同じ】	①駅北庁舎3階フロアを拠点とした事業の実施 総合的な子育て情報の発信、子育てコーディネーターが子育てに関する情報を一元化して子育て支援事業を調整、保健・福祉・教育部門の連携調整会議の開催と合同事業の実施 ②地域子育て支援拠点事業の実施 各地域子育て支援センター事業の実施、ひろば事業の実施 ③幼稚園・保育園での事業実施 マイ保育園・マイ幼稚園事業情報発信 ④児童館・児童センター事業の実施 子育て相談、子ども自身による企画事業の実施	1. どうしても休めない仕事があり、子どもが熱を出した場合、病児保育もそうだが、ほかにもセーフティーネットがあるといい。実家にも頼りたいが、祖父母世代から親世代の悩みに対して理解が得られないことがある。親世代ではなく、祖父母世代への育児講座も実施してはどうか。	1. 岐阜県の孫育ガイドブックを活用してもらうことで対応 市内の児童館・児童センターでは、祖父母限定ではないが、子どもと一緒に参加できる講座を行っている	【前期と同じ】	①駅北庁舎3階フロアを拠点とした事業の実施 総合的な子育て情報の発信、子育てコーディネーターが子育てに関する情報を一元化して子育て支援事業を調整、保健・福祉・教育部門の連携調整会議の開催と合同事業の実施 ②地域子育て支援拠点事業の実施 各地域子育て支援センター事業の実施、ひろば事業の実施 ③幼稚園・保育園での事業実施 マイ保育園・マイ幼稚園事業情報発信 ④児童館・児童センター事業の実施 子育て相談、子ども自身による企画事業の実施
103060	児童虐待、配偶者などからの暴力への対応をはじめ、家庭や女性に関わる相談や自立に向けた支援をします	①家庭相談 ②ひとり親相談(自立支援事業含む) ③女性相談	【前期と同じ】	①家庭相談 ②ひとり親相談(自立支援事業含む) ③女性相談 ④虐待対応専門員配置の検討	1. 「④虐待対応専門員配置の検討」について、多治見市は比較的DVの事案が多く、岐阜県から打診があって実施するというのであれば、令和3年度から実施というのは少し対応が遅いと感じる。問題意識があるのであれば早めに動いていただきたい。	1. R2年度に虐待対応専門員の配置のための準備は進めるが、国が求めている資格要件(社会福祉士、精神保健福祉士、医師、保健師等)に該当する人がすぐに見つかるかどうかかわからないため。	【前期と同じ】	①家庭相談 ②ひとり親相談(自立支援事業含む) ③女性相談 ④虐待対応専門員配置の検討

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
103100	—	—	児童館整備計画 に基づいた施設の 適正整備を行います	①整備計画に基づく坂上児童館の機能統合 ②整備計画の見直し ※予算計上は機能統合先の管理担当課	—	—	児童館整備計画 に基づいた施設の 整備を行います	①整備計画に基づく坂上児童館の機能統合 ②整備計画の見直し ※予算計上は機能統合先の管理担当課
104020	習慣向上プロジェクトたじみプランを推進し、生活習慣、学習習慣及びまちづくり意識の向上を図ります	①学習習慣 ・集中力を高めるために有効な学習(音読・視写・暗唱・百マス計算など)の実施 ・基礎学力・学習習慣向上を育成するため、各校でのタブレットの活用の推進 ②生活習慣 ・「早ね・早おき・朝ごはん」、「NOテレビ・NOゲーム」運動の実践 ・自尊心を高めるための研究の推進 ・口腔機能向上のための学校歯科健診で使用する器材の徹底した滅菌の実施(※1) ③まちづくり意識の向上 ・ボランティアや地域活動の推進	【前期と同じ】	①学習習慣 ・集中力を高めるために有効な学習(音読・視写・暗唱・百マス計算など)の実施 ・基礎学力・学習習慣向上を育成するため、各校でのタブレットの活用の推進 ②生活習慣 ・「早ね・早おき・朝ごはん」、「NOテレビ・NOゲーム」運動の実践 ③まちづくり意識の向上 ・ボランティアや地域活動の推進	1. 「多治見市に住んでいるが、不便なら多治見市を出ていけば良い」というような、所属の意識がない考えを持っている人、人と関わることに興味がない人たちへの繋がりが、方、関わり方をみんなが考えていかなければいけない。そういったことができて初めて「共につくる。」ということに繋がるのではないかな。 2. 「①学習習慣」について、「読解力」も追加できないか。今後、AIが普及する中で、唯一、AIが苦手とするのが読解力。人間なら簡単に分別の付くこともAIには苦手。そういった読解力、もっと言えばコミュニケーションの基礎力を伸ばすような取組を検討していただきたい。	1. 全体計画③で対応 2. 「読解力」については特別授業ではなく、通常授業で現在も実施しており、今後も継続していく。	【前期と同じ】	①学習習慣 ・集中力を高めるために有効な学習(音読・視写・暗唱・百マス計算など)の実施 ・基礎学力・学習習慣向上を育成するため、各校でのタブレットの活用の推進 ②生活習慣 ・「早ね・早おき・朝ごはん」、「NOテレビ・NOゲーム」運動の実践 ・習慣向上(生活・学習・運動)に関する情報紙による啓発の推進 ③まちづくり意識の向上 ・ボランティアや地域活動の推進
104050	インクルーシブ教育(支援児包容教育)を推進し、子どもの自立に向け、個別の教育的ニーズに応じた支援を行います	①キキョウスタッフの効果的な配置と活用 ②インクルーシブ教育の推進 キキョウスタッフ配置 小学校各3名・中学校各1名(インクルーシブ教育推進プラン)	【前期と同じ】	①キキョウスタッフの効果的な配置と活用 ②インクルーシブ教育の推進 キキョウスタッフ配置 小学校各3名・中学校各1名(インクルーシブ教育推進プラン)	1. 日本で生まれた外国籍の子どもが、日本語はペラペラだが日本人との差異が原因で学校や集団に馴染めないということもある。真剣に考えるべき問題。 2. インクルーシブ教育を推進されているが、支援を必要としないお子さんの保護者の反応はどうか。	1. 多様性を認め合う広義のインクルーシブ教育の一環と捉え、人権教育の推進や、相談相手となるほほえみ相談員の配置等で、児童生徒のケアを推進している。 2. 通信等でインクルーシブ教育について理解をしていただくようお知らせしている。また、学校では、ユニバーサルデザイン(支援が必要な子にはないと困るが、支援が必要でない子にとってはあると便利なもの)の授業をおこなっているが、支援の必要でないお子さんにも好評である。継続的な取組みの実施により、保護者へのインクルーシブ教育に対する理解は進んでいる。	【前期と同じ】	①キキョウスタッフの効果的な配置と活用 ②インクルーシブ教育の推進 キキョウスタッフ配置 小学校各3名・中学校各1名(インクルーシブ教育推進プラン)
104070	郷土を愛する学習を学校の授業及び土曜学習講座により推進します	①土曜学習講座を実施 ・多治見市の産業や文化等を学べる講座の充実 ②小学校社会科副読本「わたしたちの多治見市」を活用した授業の充実(社会科・総合的な学習の時間)	【前期と同じ】	①土曜学習講座を実施 ・多治見市の産業や文化等を学べる講座の充実 ②小学校社会科副読本「わたしたちの多治見市」を活用した授業の充実(社会科・総合的な学習の時間)	1. 地域愛、多治見愛、郷土愛に加えて、祖国愛を伝える機会もつくれないか。土曜学習講座のような多治見市独自の学習の機会としてそういったテーマも扱えないか検討して欲しい。	1. そもそも土曜学習は、多治見の人から多治見の伝統・文化・産業について学ぶことを通して郷土愛を育むというコンセプトで実施している。そのため、祖国愛については、土曜学習では取扱いをしない。	【前期と同じ】	①土曜学習講座を実施 ・多治見市の産業や文化等を学べる講座の充実 ②小学校社会科副読本「わたしたちの多治見市」を活用した授業の充実(社会科・総合的な学習の時間)
104080	いじめや不登校の未然防止とともに、早期発見・早期対応に努めます	①不登校児童生徒適応指導の実施 ②ほほえみ相談員の配置 ③ハイパーQUの実施と対応 ④スクールソーシャルワーカーの配置(増員) ⑤市いじめ防止基本方針の運用 ⑥教育相談研修会の充実	【前期と同じ】	①不登校児童生徒適応指導の実施 ②ほほえみ相談員の配置 ③ハイパーQUの実施と対応 ④スクールソーシャルワーカーの配置(増員) ⑤市いじめ防止基本方針の運用 ⑥教育相談研修会の充実	1. 療育センターに通うことを考えた場合、週2回、平日の昼間に子どもと一緒に親も療育センターに通うことになる。その場合、働いている親には負担が大きい。子供を優先に考える方もいれば、今は仕事が大事だからと子どものケアを後回しにして、という方もいる。「さわらび」でも不登校の親の集いというものがあるが、平日の昼間に実施しているので、そこにも参加できずに思いを共有できず独りで苦しんでいるということもある。特別支援学級入級児童生徒数が増えている状況にもあり、ケアが必要である。働いている親の自己肯定感や、子どもたちの自己肯定感が落ちない小さいうちに、「さわらび」や療育センターに関わるのが大事だと思う。働く親が多いという現状を踏まえて、土日や平日の夕方や夜間など、どうにか時間帯を工夫してもらい、通えるクラスが一つでも二つでもあると現状から脱却できることがあるのではないかな。	1. 現在さわらび学級では、地域に出向いて相談の場を持つ「さわらびホットタイム」、児童生徒を対象に遊びや体験活動を地域の施設で行う「チャレンジさわらび」等、対象者に寄り添っていく活動にシフトしており、利用者も増えているところ。今後も活動内容については随時見直しを行うが、土日や夜間利用の希望が多くなれば、対応できるよう事業を見直していく。	【前期と同じ】	①不登校児童生徒適応指導の実施 ②ほほえみ相談員の配置 ③ハイパーQUの実施と対応 ④スクールソーシャルワーカーの配置(増員) ⑤市いじめ防止基本方針の運用 ⑥教育相談研修会の充実

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
104100	教職員の資質を 更に高めます	①教師塾参考書の発刊 ②教師塾セミナーの開催(毎年夏季に20講座ずつ) ③実践論文の奨励 ④市教育課題研究及び発表会の継続	【前期と同じ】	①教師塾参考書の発刊 ②教師塾セミナーの開催(毎年夏季に15講座程度) ③実践論文の奨励 ④市教育課題研究及び発表会の継続	1. 不登校や引きこもりの問題は最近、大きな問題になっていると感じている。不登校に関わる職員や学校の先生、周りのサポーター、親も含めて支援の必要性を感じる。働き方改革で仕事の量や部活動の時間が減ったりしているが、教職員の質を上げるとともに、心理的な負担へのケアも必要ではないか。学習指導要領も変わってきて、小学校3年生以上は授業数が増えたと聞いているので、“働く教職員のサポート”もどこかに盛り込めないか。	1. 全体計画で対応しつつ、働き方改革も進める	【前期と同じ】	①教職員の職務やニーズに応じた研修の実施 ②市教育課題研究及び発表会の継続 ③各園・学校の保育及び教育活動への指導・助言 ④教師塾セミナーの開催(毎年夏季に15講座程度)
104140	—	—	—	—	—	—	笠原小中学校での一貫教育の成果を踏まえ、小中一貫教育校(義務教育学校)設置に向けた調査・研究を進めます	笠原地区における義務教育学校設置に向けた調査・研究
201010	たじみ健康ハッピープランに基づき、まち全体での健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を目指します	①第2次たじみ健康ハッピープランに基づき「食生活」「運動」「喫煙対策」について、様々な組織・団体・職域と協働で推進。 ②公民館を地域の健康づくりの拠点とし、地域力を活用した健康なまちづくり推進。 ③健康に関わる地域住民組織や健康づくり推進員等を増やし、健康への主体的な取り組みを推進。 ④地域の健康を推進するために、保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進する体制(統括保健師の配置等)を検討。	【前期と同じ】	①第2次たじみ健康ハッピープランに基づき「食生活」「運動」「喫煙対策」について、市民、関係団体、職域と連携した健康づくりの推進 ②自殺対策計画に基づき関係機関と連携して推進	1. 高齢者、特に独居の男性高齢者は、調理して食べることや健康に対する意識が低い方が多いと思われる。独居の男性高齢者に対する食育や調理実習なども必要ではないか。 2. 「健康」とは何だろうと考えたとき、心の健康も重要な視点。公民館で地域の方と接していても、ボランティア活動などを通じて心の健康を維持することも大切ではないか。 3. 討議課題集に掲げられた課題で「③(仮)受動喫煙防止条例による環境整備の強化」があるが、地域清掃をしていると非常にタバコのポイ捨てが多い。喫煙場所を設置して灰皿を設置するような場所を作るという方向性はないか。街の美化という観点から言えば、いっそのこと、喫煙を法律で禁止した方が良いほどではないか。 4. 「政策の柱1」、「政策の柱2」を見てきて、高校生、もしくはそれ以降の“大人の引きこもり”に対する施策が無かったように思うが、そういった方への対策はないか	1. 高齢者の独居の方に対する配食サービスがある。また、保健センターでは食生活改善を進めてもらう推進員さんによる男性を対象とした料理教室を開催したり、公民館でも男性を対象とした料理教室が開かれている。 2. 全体計画の中で対応 3. 市としては禁煙を推進しており、喫煙場所の整備は行わない 4. 相談窓口としては保健センター、福祉課、生活自立支援センター(多治見市社会福祉協議会)がある。保健センターでは、専門医への相談窓口として、保健所と連携し「こころの相談」を実施している。	【前期と同じ】	第2次たじみ健康ハッピープランに基づき、市民、関係団体、職域と連携した健康づくりの推進 ①地域でのウォーキングや筋力アップ体操などの運動推進 ②野菜摂取や減塩などの適正な食生活の普及啓発 ③こころの健康づくり ④たじみ健康ハッピープラン見直し
201020	生活習慣病の予防や早期発見、重症化予防を推進します	①生活習慣病の早期発見のために、有効性(国の指針に基づく)や利便性の高いがん検診や検査の導入及び検討。 ②クーポン券による費用助成により、若い年代の新規受診者を増やす。 ③地域や若い世代が利用する事業での啓発を強化し、特定健診や各種がん検診の受診率向上を図る。 ④生活習慣病予防のため、子どもから大人まで一貫した減塩の取り組みを地域に広げていく。 ⑤医師会との連携による生活習慣病の重症化予防を推進。	【前期と同じ】	①個別受診勧奨による各種がん検診等の受診率向上を図る ②クーポン券による費用助成により、若い年代の新規受診者を増やす ③有効性(国の指針に基づく)の高いがん検診の検討及び導入 ④若い世代からの生活習慣病予防の推進 ⑤医師会との連携により、糖尿病など生活習慣病の重症化予防を推進	1. 「①がん検診の受診率向上」について、保健師が地区担当制になり、検診の受診率が地区ごとに出るようになり、目標数値も出して取り組んでいるが、若い人の検診の受診率の低さが顕著。高齢者は積極的だが、一方で若くしてがんで亡くなる方もいて、ひと声かければ良かったと悔やまれるケースもある。他県のクーポン券には、子どもからのメッセージが添えられているものもあるようで、メッセージ性のあるクーポン券であれば、「子どものために受診しよう」という気持ちになるなどして、受診率の向上につながるのではないか。	1. 全体計画①で対応	【前期と同じ】	①個別受診勧奨による各種がん検診等の受診率向上を図る ②クーポン券による費用助成により、若い年代の新規受診者を増やす ③有効性(国の指針に基づく)の高いがん検診の実施 ④若い世代からの生活習慣病予防の推進 ⑤医師会との連携により、糖尿病など生活習慣病の重症化予防を推進
201040	—	—	—	—	1. 討議課題集に掲げられた課題で「③(仮)受動喫煙防止条例による環境整備の強化」があるが、地域清掃をしていると非常にタバコのポイ捨てが多い。喫煙場所を設置して灰皿を設置するような場所を作るという方向性はないか。街の美化という観点から言えば、いっそのこと、喫煙を法律で禁止した方が良いほどではないか。	3. 市としては禁煙を推進しており、喫煙場所の整備は行わない	(仮称)多治見市タバコの害から市民を守る条例に基づき、市民と共に健康及び安全な環境づくりを推進します	多治見市タバコの害から市民を守る条例の推進 ①条例の周知 ②タバコの健康被害について周知 ③禁煙支援

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
203060	—	—	星ヶ台運動公園を整備します	①星ヶ台運動公園整備基本・詳細設計及び実施時期の検討 ②テニスコート整備 ③クラブハウス建設 ④運動広場改修 ⑤運動広場トイレ設置 ⑥多目的広場整備	—	—	星ヶ台運動公園の整備を進めます	①星ヶ台運動公園整備基本・詳細設計及び実施時期の検討 ②テニスコート整備 ③クラブハウス建設 ④運動広場改修 ⑤運動広場トイレ設置 ⑥多目的広場整備
204010	元気な高齢者や関係団体と連携し、介護予防・日常生活支援総合事業や地域での支えあい活動を推進します	① 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)や包括的支援事業等の地域支援事業を推進 元気な高齢者の地域福祉活動への参加を促進する体制を整備 ② 地域の団体等が新しい総合事業を実施するためのモデル事業を実施するとともに、事業実施を見越した活動を支援し、新しい総合事業にステップアップするための支援を実施 ③ 地域住民が新しい総合事業に参加するために必要な研修の機会を設ける ④ 郊外の空き家の活用を進め、高齢者が気軽に集う場所として整備。また地域福祉の拠点となる事務所機能の整備を実施 ⑤ 地域の福祉活動を担う元気な高齢者が集い、自主的に地域のまちづくりを推進するために必要な拠点(集いの広場やデイサービスに代わるもの)の整備(集会所の改修、施設のバリアフリー化等)を実施	【前期と同じ】	① 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)や包括的支援事業等の地域支援事業を推進 元気な高齢者の地域福祉活動への参加を促進する体制を整備 ② 地域の団体等が新しい総合事業を実施するための事業を実施するとともに、事業実施を見越した活動を支援し、新しい総合事業にステップアップするための支援を実施 ③ 地域住民が新しい総合事業に参加するために必要な研修の機会を設ける ④ 郊外の空き家の活用を進め、高齢者が気軽に集う場所として整備。また地域福祉の拠点となる事務所機能の整備を実施 ⑤ 地域の福祉活動を担う元気な高齢者が集い、自主的に地域のまちづくりを推進するために必要な拠点(集いの広場やデイサービスに代わるもの)の整備(集会所の改修、施設のバリアフリー化等)を実施	1. 要介護のレベルを下げていくためのスポーツの在り方を考える必要がある。年配の方が参加しやすいような健康づくりの機会が増えると良いのではないかな。 2. 障がい者の方へのバリアフリーは大切なことだと思うが、高齢者に関してはちょっと頑張ればできる、ということもある。ある福祉施設では、バリアフリーではなく、わざと段差をつけたり、手すりをつけないということをしている。その結果、要介護3が2になる、2が1になるなど、実績を残していると聞いた。なんでもお膳立てをして、求めらることをすることが本当に良いことなのか。これは、いじめの件にも繋がるのではないかな。もちろん人それぞれだと思うし、それに対して教師や市役所の職員は責任を持ってないと思うので、最終的には親の教育、主体者の教育が大事になってくるのではないかな。	1. 全体計画の中で対応 2. 全体計画の中で対応	【前期と同じ】	① 介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)や包括的支援事業等の地域支援事業を推進 元気な高齢者の地域福祉活動への参加を促進する体制を整備 ② 地域の団体等が新しい総合事業を実施するための事業を実施するとともに、事業実施を見越した活動を支援し、新しい総合事業にステップアップするための支援を実施 ③ 地域住民が新しい総合事業に参加するために必要な研修の機会を設ける ④ 郊外の空き家の活用を進め、高齢者が気軽に集う場所として整備。また地域福祉の拠点となる事務所機能の整備を実施 ⑤ 地域の福祉活動を担う元気な高齢者が集い、自主的に地域のまちづくりを推進するために必要な拠点(集いの広場やデイサービスに代わるもの)の整備(集会所の改修、施設のバリアフリー化等)を実施
205010	療育、保育及び教育の連携を図り、一体的な支援を進めます	①発達に障がいがある子に対し、連続性をもった支援を実施するため、既存の関係機関の連携を強化 ②発達支援委員会における就園予定児童を受け入れる園への指導・助言 ③障がい児巡回支援専門員事業	【前期と同じ】	①発達に障がいがある子に対し、連続性をもった支援を実施するため、既存の関係機関の連携を強化 ②発達支援委員会における就園予定児童を受け入れる園への指導・助言及び医療的ケアを要する児童にかかる関係機関間の連絡・調整 ③障がい児巡回支援専門員事業	1. 療育センターに通うことを考えた場合、週2回、平日の昼間に子どもと一緒に親も療育センターに通うことになる。その場合、働いている親には負担が大きい。子供を優先に考える方もいれば、今は仕事が大事だからと子どものケアを後回しにして、という方もいる。「さわらび」でも不登校の親の集いというものがあるが、平日の昼間に実施しているので、そこにも参加できずに思いを共有できず独りで苦しんでいるということもある。特別支援学級入級児童生徒数が増えている状況にもあり、ケアが必要である。働いている親の自己肯定感や、子どもたちの自己肯定感が落ちない小さいうちに、「さわらび」や療育センターに関わるのが大事だと思う。働く親が多いという現状を踏まえて、土日や平日の夕方や夜間など、どうにか時間帯を工夫してもらい、通えるクラスが一つでも二つでもあると現状から脱却できることがあるのではないかな。	1. 今後、市民ニーズを把握しながら発達支援センターの整備方針の中で検討していく	【前期と同じ】	①発達に障がいがある子に対し、連続性をもった支援を実施するため、既存の関係機関の連携を強化 ②発達支援委員会における就園予定児童を受け入れる園への指導・助言及び医療的ケアを要する児童にかかる関係機関間の連絡・調整 ③障がい児巡回支援専門員事業

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
205060	バリアフリーの推進とともに、障がい者に対する市民の理解を促します	①バリアフリー展の開催 ②福祉環境整備指針のPR ③バリアフリー基本構想の推進・進捗管理 ④バリアフリー適合証の積極的PR ⑤こころのバリアフリーの推進 ⑥福祉教育読本の増刷、改訂 ⑦障害者差別解消法に基づく障害者差別の解消の推進 ⑧駅南地区再開発に係るバリアフリー化の推進 ⑨目標年次(平成32年)の評価と新基本構想の策定	【前期と同じ】	①バリアフリー展の開催 ②福祉環境整備指針のPR ③バリアフリー適合証の積極的PR ④こころのバリアフリーの推進 ⑤障害者差別解消法に基づく障害者差別の解消の推進 ⑥駅南地区再開発に係るバリアフリー化の推進 ⑦障害者優先調達法に基づき、障害者就労施設等からの調達を推進	1. 「⑤～障害者差別の解消の推進」について。先日、介護を必要とする方が眼科に行った際にタクシーを利用したところ、介助する女性が本人をタクシーに乗せるのに手間取って時間がかかってしまったとき、待っていた運転手さんから、「たったワンメーターでこんなに時間がかかっては困る」と叱られてしまったという話を聞いた。眼科に着いたときも看護師さんが手伝ってくれなくて、「うちはこういうところだからしょうがない」と言われてしまったという。それぞれ事情はあると思うが、もう少し障がい者に対する理解、バリアフリーに対する理解を広めていきたい。それは身体障がい者の方も、高齢者の方にも当てはまる。「障害者差別解消法」もあるが、いろんな場面で啓発をしてもらいたい。 2. 子どもの学校の宿題で、少し前は、「バリアフリーのものを探してくる」という内容だったものが「ユニバーサルデザインのものを探してくる」という内容に変わってきていた。言葉の意味を検索してみると、「バリアフリー」は一般の人というくりにあって、それでは対応できない方のバリアを無くすという考え方が、「ユニバーサルデザイン」はそもそもいろんな人があるという前提の考え方である。まだ、「ユニバーサルデザイン」が浸透していないので、「バリアフリー」の方が分かりやすいということかもしれないが、これからはおそらく多様性を前提とした考え方が大事になる。教育の現場でもユニバーサルデザインの実践で、掲示物を後ろに置くということもある。どこの事業にあてはめるかというのは難しいかもしれないが、連携して取り組んでいけるとよい。	1. 全体計画④⑤で対応 2. 「バリアフリー」は物理的、精神的な障壁のない事物及び状態のことをいうのであって、年齢、性別、言語、障害の有無等に関わらず利用できるものの設計、デザインのことをいう「ユニバーサルデザイン」とは、文法上選択できる性質のものではないと考える。	【前期と同じ】	①バリアフリー展の開催 ②福祉環境整備指針のPR ③バリアフリー適合証の積極的PR ④こころのバリアフリーの推進 ⑤障害者差別解消法に基づく障害者差別の解消の推進 ⑥障害者優先調達法に基づき、障害者就労施設等からの調達を推進 ⑦駅南地区再開発に係るバリアフリー化の推進
301010	窯業原料の確保など、地場産業の持続に向けた支援のあり方を検討します	①美濃焼みらい会議や意見交換を年4回実施し、地場産業の持続に向けた支援の在り方を、3市の行政、業界、研究機関と共に検討を行う。	窯業原料の確保など、地場産業の持続に向けた業界団体の取組を支援します	①地場産業の持続に向けた支援の在り方を、3市(多治見、土岐、瑞浪)の行政、業界、研究機関と共に検討 ②業界団体の取組を支援	1. 東濃西部広域行政事務組合が「美濃焼みらい会議」を開催して取組みを進めているところだが、官民連携して取り組んでいけるとよい。	1. 全体計画①で対応	窯業原料の確保など、地場産業の持続に向けた業界団体の取組を支援します	①地場産業の持続に向けた支援の在り方を、3市(多治見、土岐、瑞浪)の行政、業界、研究機関と共に検討。 ②業界団体の取組を支援
301020	美濃焼のブランド力の向上や販路開拓に取り組む積極的な事業者を支援します	①美濃焼ブランディング研究会の支援 ②大消費地での見本市、展示会への出展を支援 ③国内、国外への販路開拓を支援 ④美濃焼を使おう条例に基づく美濃焼の普及支援 ⑤美濃焼みらい会議を基軸とした地場産業の将来課題への対処 ⑥シェア工房等の支援	【前期と同じ】	①国内外の大消費地での見本市、展示会への出展を支援 ②美濃焼の安全性向上やデザイン・加工等の技術開発を支援 ③国内外に向けた美濃焼PR事業の支援 ④地場産業の観光化に取組む事業の支援 ⑤美濃焼タイルの振興 ⑥地場産業の技術伝承事業の支援	1. 「地場産業」については、非常に厳しい現状があるが、日本は品質が良いし、納期も守る。そういう点を強みに美濃焼等も海外に売り込んでいけるとよい。	1. 全体計画③で対応	【前期と同じ】	①国内外の大消費地での見本市、展示会への出展を支援 ②美濃焼の安全性向上やデザイン・加工等の技術開発を支援 ③国内外に向けた美濃焼PR事業の支援 ④地場産業の観光化に取組む事業の支援 ⑤美濃焼タイルの振興 ⑥地場産業の技術伝承事業の支援
301030	海外や全国から若者を募集し、産業と文化の両面から美濃焼を担う「人財」を育成します	①産業と文化の両面から美濃焼を活性化する人財の育成 ②意匠研究所卒業生など若手人財の定住促進	【前期と同じ】	①人財育成機能の充実 ②外国人研究生の受け入れ ③募集PRの強化 ④就職支援 ⑤定住促進 ⑥卒業生・研究生作品展(仮)の実施(市政80周年記念事業)	1. 陶磁器意匠研究所は毎年20人くらい全国から入学し、修了後、地元に着してきている。タイル業界の先輩後輩などの繋がりは強いものがあり、先輩の話を聴けるような機会があると良い。 2. 「④就職支援」について、陶磁器意匠研究所の卒業生で、せっかくデザインなど創造的なモノづくりの能力がある人材が、工場のラインなどに就職したときにギャップというか、需要と供給の間のギャップが問題であるという話を聞いた。「②外国人研修生の受け入れ」も進めるとなると、ますます卒業生と企業との間でギャップの問題が起こる。市内・県内への定着を進める上では、もう少し掘り下げて考えていけないか。 3. 「④就職支援」について、陶磁器意匠研究所の卒業生はできればこの地に留まって創作活動を続けたいと思っているが、給与や生活などの面を考えると留まらないというようなことを聞く。解決策として、例えばフルタイムで働いているところを15時や16時までとし、そのあとは創作活動をするというようなことも考えられるのではないかな。 4. 「④就職支援」について、多治見工業高校や陶磁器意匠研究所を卒業された方々が企業に就職する際、多治見と名古屋や他の都市部と比べると給料に差が出てくるため、給料以外の部分で、差を付けられるといい。例えば企業は、勤務日数や勤務時間を短くして創作活動と両立するなど柔軟な働き方も検討していけるといい。	1. 全体計画①で対応 2、3、4. 全体計画④の中で、「ハローワークと連携して企業とのマッチングを支援」を追加(各年度計画に記載)	【前期と同じ】	①人財育成機能の充実 ②外国人研究生の受け入れ ③募集PRの強化 ④就職支援 ⑤定住促進

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
302010	市内への企業誘致やアフターフォロー、本社機能の進出支援を通して雇用や経済波及効果の拡大を図ります	①企業立地支援 ②進出企業への支援(アフターフォロー) ③事業所等設置奨励金及び雇用促進奨励金・移住定住促進奨励金の交付 ④バス路線補助金の交付 ⑤空き工場、空き用地の情報収集強化 ⑥民間開発の誘導及び支援 ⑦誘致に係る調査	【前期と同じ】	①企業立地支援 ②進出企業への支援(アフターフォロー) ③事業所等設置奨励金及び雇用促進奨励金・移住定住促進奨励金の交付 ④バス路線補助金の交付 ⑤空き工場、空き用地の情報収集強化 ⑥民間開発の誘導及び支援 ⑦誘致に係る調査	1. 企業誘致ほど大きい規模ではなく、もう少し小さい規模の土地を買いいたいという中小零細企業にとって、多治見市内には土地がない。そういう需要と、休耕田や市街化調整区域の土地の状況を踏まえた取り組みを検討してはどうか。 2. 現在でも誘致企業の「き」業展出展など、地元企業との交流は行われているが、山形県米沢市では、NECが米沢市に進出したところ、地元の中小企業とのネットワークが広がっていて、地域で共同受注とか、繁忙期に人材を融通し合うなどの仕組みができていているという事例があると聞いた。今回、多治見進出が決まった日本ガイシなどは特に地場産業との連携の可能性があると思われるので、誘致企業と地元企業との連携を検討してほしい。 3. 「②進出企業への支援」について、誘致することが第一だと思うが、その後、誘致企業と地元企業との連携促進も大事である。他の自治体の事例を見ると、誘致した企業の本社に年一回訪問しニーズ把握をするなどしてフォローアップしているとのこと。そういった活動にも力を入れてみてはどうか。	1、2、3. 全体計画①、②で対応	【前期と同じ】	①企業立地支援 ②進出企業への支援(アフターフォロー) ③事業所等設置奨励金及び雇用促進奨励金・移住定住促進奨励金の交付 ④バス路線の新設に向けた協議 ⑤空き工場、空き用地の情報収集強化 ⑥民間開発の誘導及び支援 ⑦誘致に係る調査
303010	ビジネスマッチングや異業種交流の機会を設け中小企業の振興を支援します	①多様な参加者の交流による広域的なビジネスマッチングの場の提供(「き」業展) ②一対一の対面型面談による高密度なビジネスマッチングの場の提供(企業お見合い)	【前期と同じ】	①多様な参加者の交流による広域的なビジネスマッチングの場の提供(「き」業展) ②一対一の対面型面談による高密度なビジネスマッチングの場の提供(企業お見合い) ③市内事業者の事業継承支援	1. 「企業誘致」もちろん大事だが、地元の企業が多治見市で仕事をやっているという面を伸ばしてほしい。個々の企業が取り組むとお金がかかるようなことを多治見市がやれないか。例えば、海外に商品を販売するときのネット販売の仕組みや翻訳の仕組みなどは、企業で共有して利用できるような仕組みがあるといいのではないか。 2. 「事業継承支援」については、多治見商工会議所、笠原商工会、及び金融機関が連携して取り組んでいるが、市内事業者の数が減っていかないようにしたい。 3. 地場産業支援や企業誘致も良いが、どの企業にも関わる就労の問題について取り組んでいきたい。岐阜県の有効求人倍率は全国的にも高い。すぐ近くに給料の高い愛知県及び名古屋市があるため、そちらに就職してしまうのが要因と考えられる。今の状態で、地元就職してもらうよう話をしても、若い子は給料の高い方へ行ってしまうため、地元企業支援を進める対策が欲しい。 4. 「①「き」業展、②企業お見合い」について、出展企業が毎年同じ顔触れが多く、出展者も参加者もお付き合いのような状態になってしまっていないか。何か新たな取組はできないか。 5. 多治見市は、災害に強い、地震に強いということで進出する企業もあると聞く。もしそうであるならば、BCP(事業継続計画)の作成支援などを行うなどで多治見市で事業をする企業の魅力を高めるという方法もあるのではないか。	1. 全体計画に「④新たな中小企業支援策の検討」を追加 2. 全体計画③で対応 3. 全体計画に「④新たな中小企業支援策の検討」を追加 4. 全体計画①②で対応 5. BCPは企業(大・中・小企業)や行政の特性より内容が異なるものであり、作成に当たっては極めて専門的な知識等が必要になることから、技術的な支援は困難。(総合計画上は、防災協定締結や防災倉庫の設置場所に関する協力要請により民間企業との連携協力を進めるものとする。)	【前期と同じ】	①多様な参加者の交流による広域的なビジネスマッチングの場の提供(「き」業展) ②一対一の対面型面談による高密度なビジネスマッチングの場の提供(企業お見合い) ③市内事業者の事業承継支援 ④新たな中小企業支援策の検討
303020	創業意欲の高い市民をサポートし、企業としての自立を支援します	①創業支援事業計画に基づく創業支援事業(セミナーの開催、ビジネスインキュベータの運営、マネージャーによる各種指導・アドバイス、異業種交流会への参加声掛け等卒業事業者のサポート等)の実施	【前期と同じ】	①創業支援事業計画に基づく創業支援事業(セミナーの開催、ビジネスインキュベータの運営、マネージャーによる各種指導・アドバイス、異業種交流会への参加声掛け等卒業事業者のサポート等)の実施	1. 「③中心市街地活性化」について、『実行計画』では、「ビジネスプランコンテスト」について触れられているが、これは「303020」の起業支援にも関連している事業なので、「ビジネスプランコンテストの応募者サポートを通じた起業支援」というような事業内容を加えてはどうか。	1. 全体計画に「③ビジネスプランコンテスト事業～」を追加	【前期と同じ】	①創業支援事業計画の修正・更新を検討 ②創業支援事業計画に基づく創業支援事業 ③ビジネスプランコンテスト事業(総計コード:303030)を通じた起業支援

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
305010	観光資源のネットワーク化を進め、観光客に魅力のあるまちづくりを進めます	①「東濃ぐるりん観光事業」を活用した広域観光連携 ②「美濃焼多治見るこみち事業」を活用した着地型(体験型)観光の広域連携 ③東海地区外国人観光客誘致促進協議会を通じたPR活動 ④観光協会の機能を強化し、コンベンション(国際会議等)を誘致 ⑤観光ボランティアガイドの活動支援 ⑥「道の駅」設置に向けた調査研究 ⑦観光ルートバス(オリベルート)の運行 ⑧観光用トイレ整備 ⑨たじみ創造館の活性化	【前期と同じ】	①広域連携による観光事業(岐阜県東農、東美濃) ②着地型観光事業 ③外国人観光客の誘致 ④多治見市観光協会を主体としたによる観光資源の発掘、発信の支援 ⑤観光インフラの整備、支援 ⑥美濃焼を使おう条例に基づく美濃焼の普及事業の支援	1. 他の観光地だと料理を観光資源として観光客を呼び込んでいるが、多治見市でもうなぎを活用して観光客を呼び込むことができるのではないかと。 2. 地元の方に美濃焼に触れてもらう機会を作ることも大切だが、ほかの地域の方にPRすることも大切ではないかと。 3. 国が進めている「スーパーメガリージョン構想」で8,200万人の世界一の経済圏が生まれると期待されている。歴史街道協議会に加え、ツーリズム東美濃協議会という中部経済連合会及び商工会議所がつくる団体も立ち上がっているため、官民連携を促進していくとよい。また、多治見市観光協会も現在、観光マーケティングを実施したうえで観光戦略をつくっている。オープンファクトリーなどの観光資源を関連付けていけるとよい。	1. 全体計画④で対応 2. 全体計画①で対応 3. 全体計画①の中に、「官民連携による観光事業の促進」を追加(各年度計画に記載する予定)	【前期と同じ】	①東美濃地域など、広域連携による観光事業 ②着地型観光事業 ③外国人観光客の誘致 ④多治見市観光協会を主体としたによる観光資源の発掘、発信の支援 ⑤観光インフラの整備、支援 ⑥映画、ドラマ等のロケ誘致 ⑦旅行商品の造成 ⑧穴窯フェアの開催 ⑨美濃焼を使おう条例に基づく、美濃焼の普及のための観光事業
305020	メディアやSNSなど様々な媒体を活用し、美濃焼を中心とした多治見の魅力をまるごと発信します	①「美濃焼」「美濃焼タイル」「うながっぱ」「アツい」「モザイクタイルミュージアム」等の観光資源を使った観光誘致と情報発信 ②映画、ドラマ等のロケ誘致 ③旅行商品の造成 ④観光大使、観光アドバイザーによる取り組み ⑤登り窯・穴窯フェアの開催 ⑥観光パンフレット等の印刷	【前期と同じ】	①SNSの更なる活用策の検討、実施 ②映画、ドラマ等のロケ誘致 ③旅行商品の造成 ④観光大使、観光アドバイザーによる取り組み ⑤登り窯・穴窯フェアの開催 ⑥観光パンフレット等による情報発信	1. 観光大使には何か就任する上での義務などはあるか。鈴木ちなみさんなどは、彼らがツイッターで発信するだけでも我々が発信するよりも大きな影響力がある。	1. 全体計画④で対応	【前期と同じ】	①SNS等を活用した情報発信 ②美濃焼の魅力発信 ③映画、情報番組等の誘致によるPR ④観光大使、観光アドバイザーによる取り組み
306010	農業者と消費者との触れ合いを創出し、地産地消による都市型農業を推進します	①農業祭の効果的開催の検討をし、生産者と消費者が触れ合える場を創出 ②生産者、消費者双方の地元農業に対する意識喚起をはかるため、市民農園の運営、農業指導を支援 ③農産物直売所や青空市で生産者と消費者を結び付け、地産地消を推進する事業支援及び農産物直売所拡大の検討 ④体験・体感型の観光農園を支援 ⑤6次産業化を促し、経営の安定化を推進	【前期と同じ】	①農業祭の効果的開催の検討をし、生産者と消費者が触れ合える場を創出 ②生産者、消費者双方の地元農業に対する意識喚起をはかるため、市民農園の運営、農業指導を支援 ③農産物直売所や青空市で生産者と消費者を結び付け、地産地消を推進する事業支援及び農産物直売所拡大の検討 ④体験・体感型の観光農園を支援 ⑤6次産業化を促し、経営の安定化を推進	1. 儲かる仕組みとして、6次産業化のような事例が増えると良い。 2. 「③～農産物直売所拡大の検討」について、多治見市は消費地として大きい。駅北ファームは駅から近いというのも魅力だが、この辺りは駐車場があると利便性が高い。また、瑞浪市だとハンパカボチャというのがあり、川上屋や瑞浪高校の生徒とコラボする企画もある。甘原のトマトなどもっと売ってきたいのであれば、観光大使のシェンバタさんやスイーツ選手権で良い成績を残した多治見西高校の生徒などとコラボが増えていくとよい。	1. 全体計画⑥の中で対応 2. 農産物直売所が拡大を検討するのであればその支援はするが、飽くまで主体は直売所なので計画には記載しないこととする	【前期と同じ】	①農業祭の効果的開催の検討をし、生産者と消費者が触れ合える場を創出 ②生産者、消費者双方の地元農業に対する意識喚起をはかるため、市民農園の運営、農業指導を支援 ③農産物直売所や青空市で生産者と消費者を結び付け、地産地消を推進する事業を支援 ④体験・体感型の観光農園を支援 ⑤6次産業化を促し、経営の安定化を推進
307020	女性が安心して働き続けられる雇用環境を実現するため、関係機関と連携し事業者へ積極的に働きかけます	①女性の継続雇用に向けた企業への現状把握及び周知活動の実施(制度面での雇用継続義務や、女性の能力を活かした事業への貢献についての理解促進等) ②女性就労者向けのキャリアアップセミナーの実施(自身の価値や、多様な手法で地域経済に貢献できることを認識していただく等) ③ジンチャレ等外部支援機関と連携した就活イベントの実施 ④雇用開発協会を通じた広域での就活イベント	【前期と同じ】	①就労状況調査 ②市内事業所の若年労働力確保を目的としたセミナーの開催 ③雇用対策に関する各種団体等の支援 ④新規企業誘致に伴う雇用創出のため、雇用関係機関・学校との連携強化を図る	1. 全国広場連絡協議会の調査では、自分の生まれ育った街で育児をしている人は3割というデータがある。7割の人は“アウェイ育児”をしている。多治見市もそういった方がたくさんいる。そういう意味では、病児保育は最後の砦としては必要だが、まずは企業や地域が子どもを持つ親をサポートする意識が広がっていくといいのではないかと。 2. 前回の市民委員会では、「多治見市は4月1日時点の待機児童は0人だが、年度の途中で数人発生する」とのことだったが、これ以外にも潜在的な保育需要があるはず。子供を預けて働きたいと思っている、特に女性で、勤務日数や勤務時間によっては働きたいという人などのニーズを掘り起こせるかどうか企業がとっても課題ではないかと。	1、2. 全体計画①を「①就労状況調査、啓発」に修正	【前期と同じ】	①就労状況調査_啓発 ②市内事業所の若年労働力確保を目的としたセミナーの開催 ③雇用対策に関する各種団体等の支援 ④新規企業誘致に伴う雇用創出のため、雇用関係機関との連携強化を図る

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
307030	女性の活躍を支援するため、男性が家庭生活を担えるよう、家事・育児講座などを開催します	①男性の育児参画・ワークライフバランスの啓発(広報、FM) ②男性の育児参画・ワークライフバランスについての講演会、セミナーの開催 ③育児・家事力向上の講座の実施	【前期と同じ】	①男性の育児参画・ワークライフバランスの啓発(広報、FM) ②男性の育児参画・ワークライフバランスについての講演会、セミナーの開催 ③育児・家事力向上の講座の実施	1. 女性を取り巻く環境を整えることも必要だが、女性自身が自分でもこんなことができるんだ、こんな風に関われるんだということに気付ける、学べる機会を積極的につくっていくことも必要。恵那市では女性が起業するときの講座をやっていると聞いたが、そういった道標のようなもの、機会をつくっていくような取組みがあるといい。	1. 全体計画②で対応	【前期と同じ】	①男性の育児参画・ワークライフバランスの啓発(広報、FM) ②男性の育児参画・ワークライフバランスについての講演会、セミナーの開催 ③育児・家事力向上の講座の実施
307040	高齢者が働き続け、活躍できる社会の実現に向け、様々な事業者と連携した取組を推進します	①高齢者が活躍できる生涯現役社会の実現のため、シルバー人材センターなどの事業者と協力して就業機会を確保 ・草刈り事業、休耕農地を活用した農業支援事業など既存のシルバー人材センター事業を拡大 ・新たな事業の立ち上げを支援し、雇用を創出 ②シニア活動支援センターとの連携(情報提供)	【前期と同じ】	①高齢者が活躍できる生涯現役社会の実現のため、シルバー人材センターなどの事業者と協力して就業機会を確保 ・草刈り事業、休耕農地を活用した農業支援事業など既存のシルバー人材センター事業を拡大 ・新たな事業の立ち上げを支援し、雇用を創出 ②シニア活動支援センターとの連携(情報提供)	1. 高齢者の方にとって、ボランティア以外にも働くということも一つの選択肢だと思う。経験や技術などの財産を持った高齢者の方が定年後もう一度働こうと思ったとき、働く場を斡旋したりつくったりするような取組みがあってもいいのではないか。 2. 「②高齢者が活躍する仕組みづくり」について、もう少し具体化して欲しい。、働きたい側と受け入れ側のマッチングが難しかったり、突然認知症を発症してしまうなどの高齢者特有のリスクがあったりと、若い人の働き方とはまったく違う現実がある。今までにない働き方を模索していく具体策が欲しい。 3. 「シルバー人材センター」について、シルバー人材センターも大事だが、地域ごとのコミュニティの中で繋がれるような仕組みづくりもあると良い。	1. 全体計画②で対応 2. 全体計画②で対応 3. 全体計画①で対応	【前期と同じ】	①高齢者が活躍できる生涯現役社会の実現のため、シルバー人材センターなどの事業者と協力して就業機会を確保 ・草刈り事業、休耕農地を活用した農業支援事業など既存のシルバー人材センター事業を拡大 ・新たな事業の立ち上げを支援し、雇用を創出(情報提供) ②ハローワーク等シニア活動支援を行う関係機関との連携(情報提供)
308020	国際交流協会、企業及び教育施設などと連携し、多文化共生を促進します	国際交流協会、企業及び教育施設等と連携し、多文化共生を推進します。 ・国際交流協会、企業及び教育施設等と連携して事業を展開 ・国際交流協会への支援	【前期と同じ】	①在住外国人への情報提供や交流 ②海外の都市との交流 ③来訪する外国人との交流を深める事業 ④国際交流協会の自立を促進	1. 外国人が多治見市に住んだとき、外国人のコミュニケーションは市が担うのか。「多文化共生」と掲げるのであれば、外国人との接点を持つ必要がある。外国人の増加が見込まれるのであれば、日本の文化やルールを教える制度や仕組みを行政がつくっていくということか。	1. 外国人のコミュニケーションについては市は担わない。外国人への情報提供については、全体計画①で対応。ただし、今後の外国人の増加を見据えて事業の「拡充」を庁内で検討中	【前期と同じ】	①在住外国人への情報提供や交流 ②海外の都市との交流 ③来訪する外国人との交流を深める事業 ④国際交流協会の自立を促進
401030	消防団員の加入促進を図り、地域消防力を強化します	①消防団員の処遇改善や今後の消防団のあり方を定めた「消防団活性化計画」の進捗管理 ②広報媒体等による団員募集活動 ③消防団行事、消防音楽隊演奏活動を通しての消防団PR活動 ④第65回岐阜県消防操法大会の開催 ⑤操法大会への出場、消防学校等への入校による消防団員の資質、技術の向上 ⑥消防団員個人装備品の整備	【前期と同じ】	①消防団員の処遇改善や今後の消防団のあり方を定めた「消防団活性化計画」の進捗管理 ②広報媒体等による団員募集活動 ③消防団行事、消防音楽隊演奏活動を通しての消防団PR活動 ④操法大会への出場、消防学校等への入校による消防団員の資質、技術の向上 ⑤消防団員個人装備品の整備	1. 消防団員については、地域の方の理解が得られないこともある。練習が夜になることも多いが、音の問題などで苦情が寄せられることもあり、苦勞されていると聞く。消防団の必要性について広めていかないと、活動の場所も無くなってしまうし、消防団員の増加にもつながっていかない。消防団はいざというときには必要な存在であり、災害に強い街であれば、それは多治見市のPRポイントになり得る。しかし、多治見市の防災に関わる姿勢は東濃の中でも消極的に感じるため、東濃5市と足並みを揃えて進んで欲しい。 2. 昔はその地域に住んでいてある年齢になったら必然的に消防団に入っていたが、今は、入りたくない、やりたくないという人が多い。しかし、大雨が降ったりすると土嚢を積んで欲しいという要望が消防団に来る。消防団の必要性は皆が分かっていると思うが、早朝訓練もあつたり負担も大きい。ただ、子どものころから地域への愛着や参加意識を育んでいくことで、地域に還っていくのではない。	1. 全体計画①で対応 2. 全体計画①で対応	【前期と同じ】	①消防団員の処遇改善や今後の消防団のあり方を定めた「消防団活性化計画」の進捗管理 ・広報媒体等による団員募集活動 ・消防団行事、消防音楽隊演奏活動を通しての消防団PR活動 ・操法大会への出場、消防学校等への入校による消防団員の資質、技術の向上 ・消防団員個人装備品の整備
404070	—	—	保安上危険な空家等の除却を促進します	①空家特措法に基づく危険空家等の除却の促進 ②危険空家の所有者等に対する指導・助言による適正管理の促進	P83「空き家」について、空き家法が改正になって税金が上がると聞いているが、市役所はどういった対応が可能なのか。また、活用できる空き家は空き家バンクに登録して利活用してもらうということか。	—	保安上危険な空家等の除却を促進します	①空家特措法に基づく危険空家等の除却の促進 ②危険空家の所有者等に対する指導・助言による適正管理の促進
404080	—	—	防災対策を始めとしたドローンの有効活用を進めます	①ドローンの活用方法の検討 ②災害情報の収集 ③ドローン操縦士の養成	—	—	防災対策をはじめとしたドローンの有効活用を進めます	①ドローンの活用方法の検討 ②災害情報の収集 ③ドローン操縦士の養成

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
405040	環境学習を推進する「人財」を育成するとともに、市民活動を支援します	①市民、行政等の協働による環境教育、学習を推進する人財の育成と環境教育・環境学習の支援 ②自然環境講座、小中学校等での出張講座	【前期と同じ】	①市民、行政等の協働による環境教育、学習を推進する人財の育成と環境教育・環境学習の支援 ②自然環境講座、小中学校等での出張講座 ③自然展の開催	1. 多治見市内には様々な自然環境を調査する団体が活動されて、その方々が目を光らせて自然を守っているが、今のままでは20年後30年後にはこういった団体は無くなってしまふ。「多治見らしさ」としてあげられている「豊かな自然環境」も今のままではなくなってしまうのではないか。	1. 全体計画の中で対応	【前期と同じ】	①市民、行政等の協働による環境教育、学習を推進する人財の育成と環境教育・環境学習の支援 ②自然環境講座、小中学校等での出張講座 ③自然展の開催
405110	—	—	集合墓(合葬墓)を整備します	①集合墓建設整備工事の実施 ②集合墓の募集要項の策定 ③集合墓の管理業務内容の策定 ④市営霊園補修工事の実施 ⑤墓地管理システムの導入	—	—	合葬式墓地を建設します	①合葬式墓地建設工事の実施
409010	ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、都市計画による規制・誘導を進めます	①都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(岐阜県都市計画区域マスタープラン)の原案作成準備 ②市町村の都市計画に関する基本的方針(多治見市都市計画マスタープラン)の定期見直し準備 ③緑化政策、住宅政策との調整 ④区域区分の見直し準備 ⑤国土利用計画(多治見市計画)の改訂 ⑥都市計画基本図の作成 ⑦都市計画基礎調査の実施 ⑧都市計画基礎調査の解析 ⑨立地適正化計画の策定検討	【前期と同じ】	①都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(岐阜県都市計画区域マスタープラン)の定期見直し ②市町村の都市計画に関する基本方針(多治見市都市計画マスタープラン)の定期見直し ③区域区分の定期見直し ④緑の基本計画、住宅マスタープランの見直し統合 ⑤国土利用計画(多治見市計画)の見直し統合 ⑥都市計画基本図の作成 ⑦都市計画基礎調査の実施・解析 ⑧立地適正化計画の見直し(誘導施策の検討含む)	1. 高齢者には街中居住を促進し、郊外には住環境や自然環境が整っているので若い子育て世代の居住を推進していくのがいいのではないか。	1. 参考にさせていただく	【前期と同じ】	①都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(岐阜県都市計画区域マスタープラン)の定期見直し ②市町村の都市計画に関する基本方針(多治見市都市計画マスタープラン)の定期見直し ③区域区分の定期見直し ④緑の基本計画、住宅マスタープランの見直し統合 ⑤国土利用計画(多治見市計画)の見直し統合 ⑥都市計画基本図の作成 ⑦都市計画基礎調査の実施・解析 ⑧立地適正化計画の見直し(誘導施策の検討含む)
411020	定住を促進するため、市の魅力を市外に発信し、市の知名度・イメージの向上を図ります	①移住定住パンフレットの作成 ②プロモーション方法の研究と実施 ③先進地の情報収集 ④中期戦略の策定と、戦略に沿った事業展開	定住を促進するため、市の魅力を発信するとともに、定住支援策を推進します	①移住定住相談(各種イベントへの参加) ②プロモーション方法の研究と実施 ③移住定住特設ウェブページ・インスタグラムの運営 ④定住支援策の研究・事業化・検証 ⑤人口増減・住民異動状況の分析 ⑥移住支援金の交付	1. 「多治見市で子どもが生まれ、小中高の後、これくらいの労力、費用があれば大学に行かせることができる」ということがある程度見通すことが出来れば、多治見市と他市とどちらに住もうか考えた時の参考になる。多治見市の教育についてのロードマップのような図表を使った分かりやすい情報提供ができればいいのではない か。 2. 転入届や転出届を出す際には、アンケート調査をしていると思うが、合わせて転入された方の追跡調査などは行っているか。例えば、転入されたけど転出された方が多いとすると何か問題があるということ。どういったところに他との違いがあったのかを調査するというのも一つではないか。 3. 子育てしやすい街なのかどうか市民から分かりにくい。子育て中の保護者に対して発信できているのか。 4. 多治見市の学童(放課後児童クラブ)は東濃で一番だと思っている。各小学校区にあって、学校施設をちゃんと活用できているところが他の市に比べて自信をもって良いと思う。そういった部分も子育て世代に届くようなPRをしてもらいたい。 5. 「結婚相談」について、せっかく成果が出ているのであれば、是非それをPRして、「多治見は結婚しやすいんだな」というような印象を持ってもらえるといい。そのほかにも「先生の働き方改革」なども、成果が出たらどんどんPRするべき。 6. 人口が増えている千葉県流山市の話を知ると、共働き世帯を対象に、駅まで子どもを連れていけばそこから保育園へは送迎してくれるとのこと。流山市も多治見市も似ていて、近くに働く場所がある。緑も多くある。住む場所として選ばれるようなことを意識したことを全体計画に盛り込めればいいのではないか。 7. 『討議課題集』P40図表22-4「市民病院の医師・看護師数」が増えているとても素晴らしい。土岐市の総合病院が存続等で話題になっているが、東濃西部地域において、医療体制の中核的な役割を担うことが期待されているし、移住定住においても判断材料の一つになるので積極的にPRしておくとも良いと思う。 8. 移住定住を進める上でも関係の深い柱、働く場所として、多治見市にどんな魅力があるのかをまとめてPRしてもらいたい。もちろん、住む場所としてもPRすべきではないか。	1. 全体計画③で対応 2. 追跡調査については、個人情報保護の観点から困難 3、4、5. 全体計画②「プロモーション方法の研究と実施」を「PR方法の研究、実施、検証」に変更し、対応 6. 参考にさせていただく 7. 現在のシティプロモーションの中で、医療の充実についてはすでにPRしている 8. 全体計画②「プロモーション方法の研究と実施」を「PR方法の研究、実施、検証」に変更し、対応。	定住を促進するため、市の魅力を発信するとともに、定住支援策を推進します	①移住定住相談(各種イベントへの参加) ②PR方法の研究、実施、検証 ③移住定住特設ウェブページ・インスタグラムの運営 ④定住支援策の研究・事業化・検証 ⑤人口増減・住民異動状況の分析 ⑥移住支援金の交付
501040	自助・共助の意識を高め、自主防災組織の活動を支援します	①自主防災組織への防災講話等、防災啓発活動・自主的な活動のサポートを実施(おとどけセミナー含む) ②地域の防災リーダーを養成するセミナーの実施(市による主催) ③先進的自治組織に対する防災モデル地区の指定	【前期と同じ】	①自主防災組織への防災講話等、防災啓発活動・自主的な活動のサポートを実施(おとどけセミナー含む) ②地域の防災リーダーを養成するセミナーの実施(市による主催) ③先進的自治組織に対する防災モデル地区の指定 ④自主防災組織の活動を支援する補助制度の運用及び見直し検討	1. 地域防災力向上セミナーは、なかなか広がりを見せていない印象。地域力を広げていくにあたって外部からコーディネーターが関わっていくことが良いのではないかと、地域の自主性に期待するのも大事だが、もっと広域的に共有できる仕組みがあると良い。 2. 他市の会社では自社内に防災倉庫を設置して、災害時にはそこから備蓄食料を供給する体制を整えているところもあると聞いた。自主防災というと行政と一般市民というニュアンスが強い印象だが、企業も明記できないか。	1. 地域防災力向上セミナーについて、今後の事業展開の参考にさせていただく。 2. 基本計画事業501020、501030、501070において企業も含めた取組を行っている。	【前期と同じ】	①自主防災組織への防災講話等、防災啓発活動・自主的な活動のサポートを実施(おとどけセミナー含む) ②地域の防災リーダーを養成するセミナーの実施(市による主催) ③先進的自治組織に対する防災モデル地区の指定 ④自主防災組織の活動を支援する補助制度の運用及び見直し検討
501060	震災時の避難路の安全を確保するため、ブロック塀除去を促進します	防災事業補助金(ブロック塀除去)の利用促進	大規模地震時の避難路の安全を確保するため、ブロック塀等の除去を促進します	①防災事業補助金(ブロック塀除去)の活用促進	1. 「②～通学路等の危険個所調査の実施」について、ブロック塀の問題や悲しい事故が起きているので早期でやっていただきたい。	1. 全体計画の中で対応	大規模地震時の避難路の安全を確保するため、ブロック塀等の除去を促進します	①ブロック塀等除去補助金の活用促進 ②拡充策施行期間終了による補助内容の見直し検討

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
501070	防災対策の充実を図るため、民間企業や他自治体との防災協定の締結を進めます	①民間企業(大規模駐車場含む)及び他自治体との協定締結の拡大 ②過去の協定締結の確認作業(平時の訓練など)	【前期と同じ】	①民間事業所及び他自治体等との協定締結の拡大 ②過去の協定締結の確認作業(平時の訓練など)	1. 災害時の駐車場の提供を企業に求めるという取組みもあるが多治見市ではどうか。	1. 全体計画①で対応	【前期と同じ】	①民間事業所及び他自治体等との協定締結の拡大 ②過去の協定締結の確認作業(平時の訓練など)
501080	児童生徒に対する防災・防火教育を実施します	小中学校での児童・生徒を対象にした防災・防火を学習する機会を定型的ものとして設ける ・教育委員会(教諭含む)・消防本部等との打ち合わせ ・防災・防火学習カリキュラム構成の確定 ・一部の学校での試験的な実施 ・各学校での防災・防火学習の実施	児童生徒に対する 防災教育を進めます	①小中学校における防災教育に際し、統一された学習教材を提供するとともに、指導方法を支援することにより、次代の防災の担い手を育成する。 ・防災教育教材の提供及び各学校での防災学習の実施 ・防災教育カリキュラム及び教材等の運用支援	1. 中学生くらいの子供たちが、例えば防災に関することなどを全員が学習できる機会があるといい。いざ地域で避難所が開設されたときに力になるのは働いている世代ではなく地域の中高生のボランティアスタッフ。そういう意味で中高生が地域で活躍できるような機会があると良い。	1. 全体計画①で対応	児童生徒に対する 防災教育を進めます	防災教育教材の提供と指導支援し、学校教諭による主体的な防災教育の実施することにより、次代の防災の担い手を育成する。 ①防災教育教材の提供及び各学校での防災学習の実施 ②防災教育カリキュラム及び教材等の運用支援
501090	自主防犯活動を支援するなど、地域の安全向上に努めます	①警察署等の関係機関と連携して地域での見守り体制や自主防犯活動を支援 ②東濃西部地区防犯協会の事業に参加し、地域の安全を確保	【前期と同じ】	①警察署等の関係機関と連携して地域での見守り体制や自主防犯活動を支援 ②東濃西部地区防犯協会の事業に参加し、地域の安全を確保	1. ながせ商店街では安全・安心な商店街を作るため、商店街振興組合が主体となって補助金などを活用して防犯カメラを設置している。多治見市が実施するのは難しいかもしれないが、民間のそういった動きを補助するような仕組みもあるのではないかな。	1. 他市の先進事例を研究して、出来るところから取り組む	【前期と同じ】	①警察署等の関係機関と連携して地域での見守り体制や自主防犯活動を支援 ②東濃西部地区防犯協会の事業に参加し、地域の安全を確保
501100	—	—	—	—	1. ながせ商店街では安全・安心な商店街を作るため、商店街振興組合が主体となって補助金などを活用して防犯カメラを設置している。多治見市が実施するのは難しいかもしれないが、民間のそういった動きを補助するような仕組みもあるのではないかな。	1. 新たに基本計画事業を立ち上げ	犯罪の抑止効果を高める防犯カメラの設置を検討します	①市街地等に防犯カメラを設置する方法等の研究 ②市街地等に防犯カメラを設置
502050	地域住民や各種団体と連携し、地域力向上を図る活動を支援します	①安心して暮らせる地域づくりをすすめるため、地域において福祉・防災・防犯活動などに取り組むしくみをつくります。 ②地域において地域力向上をめざす団体等の立ち上げを支援します	【前期と同じ】	①安心して暮らせる地域づくりをすすめるため、地域において福祉・防災・防犯活動などに取り組むしくみをつくります ②地域において、地域力向上をめざす団体等の立ち上げ支援を行うため、 庁内の組織横断的な連携を図ります	1. 「共につくる。」に関連して、今、自治会の状況が惨憺たるもの。自治会のなり手がいない。そういった地域の問題を何とかしたいという思いを盛り込んでいただきたい。 2. 地域力の防災グループと自治会の防災委員会との連携をどう考えるか。また、地域力を広めていくという方向性を示しているが、まちづくり市民会議、地域社会福祉協議会との連携についてもどう考えるか。 3. 「①各小学校区青少年まちづくり市民会議」について、小学校区によって活動状況にバラツキがある。例えば、養正校区ではPTAのOBがそのまままちづくり市民会議に入って比較的若い世代の方がしっかりと活動している。市之倉校区では子どもスタッフという仕組みがあって、小学校や中学校の子たちがまちづくり市民会議に入って一緒に事業をやっている。一方で、実働スタッフが70代の方という校区もある。せつかく各校区にまちづくり市民会議があるので、これがもう少し上手く機能するといい。その地区にリーダーとなる方がいるかないかも大きいと思うが、親育ち4・3・6・3のモデルに指定されているところ、姫地区、根本地区、養正地区などではいろんな方が一緒になって活動をしている。市民会議と例えば防災など、既存の団体と繋げるようなコーディネート的なことをしてもらった上で、地域的な活動にしてい、そういったきっかけ作り、コーディネートが必要ではないか。 4. 「②地域力の向上」について、根本には地域力推進会議がある。いろんなところで立ち上がるということだが、多治見市全体の方向性があつた上で立ち上がっていくのが本来。根本であれば、交流センターで学んでいただいて、それを集会所や町内会へ広げていくという取組みをしているなど、今は地域ごとに個々の動きをしている状況。地域によって事情は違うと思うが、多治見市で大きな指針を見せていただいて地域で活動していけば、方向性を統一されるのではないかな。	1. 全体計画の中で対応 2. それぞれの活動について組織、人が双方でネットワーク化できるよう、情報の提供、連携支援を進めていく。 3. 全体計画②の中で対応。 4. それぞれの活動について組織、人が双方でネットワーク化できるよう、情報の提供、連携支援を進めていく。	【前期と同じ】	①安心して暮らせる地域づくりをすすめるため、地域において福祉・防災・防犯活動などに取り組む仕組みを構築 ②地域において、地域力向上をめざす団体等の立ち上げ支援を行うため、 庁内の組織横断的な連携を図る ③区長会等と連携した自治組織支援の実施(対応事例等情報提供、専門支援員の配置)
503020	子どもの権利に関する条例に基づき、子どもの健やかな成長と自立を促します	①子どもの権利に関する推進計画の推進と検証(子どもの権利委員会を含む) ②子どもの権利の啓発・広報(フォーラム・セミナー開催、子どもの権利普及推進員による広報啓発活動) ③たじみ子育てパートナー ウィズ・チルの普及 ④子どもの権利擁護委員と権利相談室運営 ⑤子ども自身の活動支援(子ども会議、子どものサロン開催等) ⑥子どもの権利施策関係課連絡会議の開催	【前期と同じ】	①子どもの権利に関する推進計画の推進と検証(子どもの権利委員会を含む) ②子どもの権利の啓発・広報(フォーラム・セミナー開催、子どもの権利普及推進員による広報啓発活動) ③たじみ子育てパートナー ウィズ・チルの普及 ④子どもの権利擁護委員と権利相談室運営 ⑤子ども自身の活動支援(子ども会議、子どものサロン開催等) ⑥子どもの権利施策関係課連絡会議の開催	1. 「③人権啓発活動」について、LGBTのようなことが原因でいじめなどに繋がるようなこともあると聞く。人数が少ないマイノリティの方について一気に理解を得るのは難しいかもしれないが、知識や理解がだんだんと広がっていくと良い。また、発達障害の子どもなどに対して、接し方がわからない場合もあり、どのように接したらいいか分かってもらえると理解が深まる。人権意識というところの項目になるのかどうか分からないが、そういった啓発も必要ではないかな。	1. 全体計画①で対応	【前期と同じ】	①子どもの権利に関する推進計画の推進と検証(子どもの権利委員会を含む) ・第4次多治見子どもの権利に関する推進指針策定のためのアンケート調査実施 ②子どもの権利の啓発・広報(フォーラム・セミナー開催、子どもの権利普及推進員による広報啓発活動) ③たじみ子育てパートナー ウィズ・チルの普及 ④子どもの権利擁護委員と権利相談室運営 ⑤子ども自身の活動支援(子ども会議、子どものサロン開催等) ⑥子どもの権利施策関係課連絡会議の開催 ⑦子どもの権利条例改正

コード	前期計画 基本計画事業名	前期計画 基本計画全体計画	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第5回市民委員会 基本計画全体計画	第5回市民委員会における 委員会からのご意見	第5回市民委員会における 委員会からのご意見への対応	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画事業名	後期計画(案) 第6回市民委員会 基本計画全体計画
602040	—	—	—	—	1. AI(人工知能)の活用で、幼稚園や保育所の負担はどれくらい軽減できるのか 2. 「104020」の全体計画「①学習習慣」について、「読解力」も追加できないか。今後、AIが普及する中で、唯一、AIが苦手とするのが読解力。人間なら簡単に分別の付くこともAIには苦手。そういった読解力、もっと言えばコミュニケーションの基礎力を伸ばすような取組を検討していただきたい。	1. 新たに基本計画事業を立ち上げ	Society5.0の視点から、職員の生産性向上を図ります	①AI(人工知能)の業務への活用方法の研究 ②RPA(ロボットによる業務の自動化・効率化)の業務への活用方法の研究
602050	—	—	—	—	1. 「301020」の全体計画「③美濃焼PR」について、2017年に国際陶磁器フェスティバルが開催された際、中田英寿さんが総合プロデューサーを務めたが、そのときに「セラミックバレー」というテーマを作った。国際陶磁器フェスティバルのチラシを見るとこのロゴが入っている。この中で、「セラミックバレー」を知っている人は少ないかもしれないが、「シリコンバレー」に倣って、この地をセラミックの主産地・発信地ということで「セラミックバレー」とした。それを活用できないか。美濃焼と言っても何か分からないと言われる。有田焼、益子焼、瀬戸物は焼き物と分かるが、美濃焼は食べ物だと思われることもあった。美濃焼に関わっていた者としては、こういった状況を打開したいと思っている。	1. 新たに基本計画事業を立ち上げ	多治見、瑞浪、土岐、可児の4市をセラミックバレーとして広域で連携し、情報発信します	①国際陶磁器フェスティバル美濃でのプロモーション ②ロゴマークを管理・活用する組織の設置に向けた調整 ③「セラミックバレー」の情報発信
603010	公共施設等総合管理計画に基づき適正配置計画を策定し、市有施設の統合・複合化、転用、廃止等を進めます	①公民館、児童館、地区事務所等、市有施設の複合化・統廃合等の検討 ②市有施設全体のあり方を検討するために必要な体制や仕組みの検討 ③公共施設等総合管理計画の推進 ④公共施設白書の作成 ⑤適正配置計画の策定及び推進	公共施設適正配置計画に基づき、施設の統合・複合化、転用、廃止等を進めます	①施設所管課と連携した個別施設ごとの実行計画の推進(計画作成、地域・利用者との調整等) ②公共施設適正配置計画の進捗管理 ③公共施設白書の更新	1. 児童館や児童センターが校区に一つずつある市というのはそれほどない。多治見市が子育てを重視しているのだとよく分かる現状だが、これから子どもが減っていく中で校区という単位そのものについても議論が必要ではないか。	1. 施設の複合化を行うことで対応	公共施設適正配置計画に基づき、施設の統合・複合化、転用、廃止等を進めます	①施設所管課と連携した個別施設ごとの実行計画の推進(計画作成、地域・利用者との調整等) ②公共施設適正配置計画の進捗管理 ③公共施設白書の更新
604010	5Sの徹底、おもてなしの向上により市民満足度を高めるとともに、政策を実行・実現できる職員を育成します	①人財育成基本計画を着実に実施特に優先的に取り組む事業(6事業15項目)を実施	5S・おもてなしの向上により市民満足度を高めるとともに、 <u>制度改正や社会変化に対応するため、職員の政策立案・業務遂行能力の向上を図ります。</u>	①人財育成基本計画の着実な実施・5S・おもてなしの向上 ・各職位に必要な能力等の習得 ②職員の情報システム応用力の向上 ・情報リテラシー向上研修の実施	1. 是非、この事業に対してお金を投じて欲しいと思う。多治見市役所の人財育成というのは多治見市政にとって重要である。	1. 全体計画①・②で対応	5S・おもてなしの向上により市民満足度を高めるとともに、 <u>制度改正や社会変化に対応するため、職員の政策立案・業務遂行能力の向上を図ります</u>	①人財育成基本計画の着実な実施・5S・おもてなしの向上 ・各職位に必要な能力等の習得 ②職員の情報システム応用力の向上 ・情報リテラシー向上研修の実施
604030	マイナンバーカードを活用したサービスを検討します	①マイナンバーカードの独自利用(コンビニ交付等)の実施を検討し、方針決定	【前期と同じ】	①マイナンバーカードの(コンビニ交付等の)将来的な利用の検討	1. 市役所で発行する証明書などの手数料支払いのキャッシュレス化を検討できないか。郵送だと小為替というものを送るがこれが非常に手間で経費も掛かる。スマートフォンでコンビニでかざすだけで会計できる時代なので、市役所でもそういった手続きができるとう便利になるのではないか。	1. ご意見として伺い、今後も社会的な動きを注視していく	【前期と同じ】	①コンビニ交付等のマイナンバーカードの将来的な利用の検討
605010	市民との情報共有を図るため、わかりやすく情報を提供し、より効果的な広報の手法を検討します	①広報たじみの発行 ②ホームページによる情報発信 ③FM-pipiでの市政情報放送 ④新たな広報媒体の検討	【前期と同じ】	①広報たじみの発行 ②ホームページ、SNSによる情報発信 ③FM-pipiでの市政情報放送 ④おりべネットワークでの市政情報放送	1. どうやってPRしていくか、広報していくかが悩みどころ。広報を読んでいる人、公民館活動に参加する人、以外の人たちにどうやって情報を届けていくのが課題。多治見市の広報紙に掲載されている情報は回覧板にはしないということだが、広報紙は字が小さく、ページを開かないといけないので、例えば回覧板を活用するという手もあるのではないか。	1. 全体計画の中で対応	【前期と同じ】	①広報たじみの発行 ②ホームページ、SNSによる情報発信 ③FM-pipiでの市政情報放送 ④おりべネットワークでの市政情報放送